

王毅外相「冷戦思考を捨て、二重基準や一方的制裁をやめよう」

Jul 07, 2022

Global Times (環球時報)

中国外相がウクライナ危機の「3つの懸念」を指摘する

「冷戦思考を捨てよう、“ダブルスタンダード” や一方的な制裁をやめよう」と、いくつかの国に要請

Chinese FM lays out three points of concern on Ukraine crisis

Certain countries urged to drop Cold War mentality, stop double standards and unilateral sanctions

<https://www.globaltimes.cn/page/202207/1270030.shtml>

By Chen Qingqing

中国国務委員兼外相の王毅氏は、(7月7~8日にインドネシアのバリで開かれた) G20 外相会議に出席。

ロシア外交官との会談、その後のインド外相との会談で、「ウクライナ危機に対する3つの懸念」を示した。

この危機を利用して冷戦思考を煽ること、ウクライナ危機と台湾問題を比較して、二重基準で議論をこじらせること、危機を口実にして中国などを一方的に制裁することである。

王毅発言の要旨

木曜日(7日)、インドのジャイシャンカル外務大臣との会談の中で王外相は、以下のごとく述べた。

情勢はますます複雑化している。そして暴力的になっている。世界はいま分裂ではなく連帯を、対立ではなく対話を必要としている。

中国は、冷戦的な考え方や対立を扇動するいかなる行動に反対する。そして歴史の正しい側、平和的な対話を推進する側にしっかりと立ち続けていく。

そして王外相は以下の事実を指摘した。

中国は二重基準に反対する。また、主権と領土の一体性を損なういかなる行為にも反対している。

一部の国（米国のこと）は、ウクライナ問題では主権の原則を強調し、台湾問題では中国の主権と「一つの中国」原則に絶えず挑戦している。これこそまさに二重基準ではないか。

王外相は次のように続けた。

「中国は、ウクライナ危機と台湾問題を一緒にしようとするいかなる意図にも反対する。そして中国の核心的利益を守り抜く。

一部の国はウクライナ危機を口実に、中国などに対してまで、一方的な制裁を課している。これは不公正かつ非合法的な行為である。それは国家間の正常な交流を傷つけ、国際貿易ルールに違反している。

このような動きは危機を拡大させ、より複雑化させるだけだ。だからすべての国々が拒否すべきだ」

3つの懸念が示すもの

北京在住の国際問題専門家（匿名希望）は、環球時報に語った。

「中国の抱く3つの懸念が示すのは、世界情勢を考える上で、覇権主義は歓迎されないということだ。

それこそは、ロシアとウクライナの対立を長引かせた本質的な理由でもある。

またそれは、世界はもっと対話を必要としていることを示唆している。

ウクライナ紛争をはじめ、今日の多くの国際的な危機や混乱の原因がアメリカの覇権主義であるからだ」

アメリカは自らの覇権を示すために分断を作り出している。アメリカは今年のG20を、ロシアを孤立させるチャンスにしようとしている。

それとは違い、中国といくつかの新興国は、経済協力の機会を増やそうとしている。そして双方に利益をもたらすような具体的な取り組みを検討している。

中ロ合意

米国とその同盟国がロシアと中国を封じ込めようとしていることを背景にして、ロシアのセルゲイ・ラブロフ外相と中国の王外相との会談が持たれた。

タス通信によれば、ラブロフは「ロシアと中国は引き続き範囲と実際的な交流を増やしていく」と述べた。ロシアと中国が合意したポジションは、他の国々の間でも多くの支持を集めている。それは西側諸国の公然たる攻撃政策とは対照的である。

タス通信によれば、ラブロフは次のように述べた。

ロシアの姿勢は、国際関係者の中で支持と評価を集めつつある。

ブリンケン米 국무長官の動き

G20 バリ会議が間もなく開かれる。（最初にお断りしたとおり、このニュースは7月初めのものだ）

アメリカ主導の西側ブロックの主な目的は、ウクライナ危機をめぐってロシアにさらに圧力をかけることである。木曜日のロイターの報道で、“アメリカ政府高官”の発現が引用されている。

「今週のバリでの G20 は通常通りにはいかないかも知れない。しかしアメリカは、最低でもロシアのウクライナに対する "残虐行為" を正当化するようなことが起きないようにする決意だ」

そして、この高官はウクライナの安全保障に追加措置を講じると述べ、米国の意向に日本、ドイツも同調するだろうと語った。

王毅外相は、木曜日（7月7日）の午前中にインドネシア、アルゼンチン、EUの外交官とも会見した。

中国外務省の趙麗健報道官は、木曜日午後の定例記者会見でこう述べた。

「王毅外相は現在ラブロフと会談を行っている。この後米国、フランス、ドイツ、スペイン、オランダ、カナダ、オーストラリア、シンガポールおよびサウジアラビアの代表と二国間会議を開催する予定だ」

王毅外相はアントニー・ブリンケン国務長官とも、G20会合で会談する予定だ。

米国側は、両国のせめぎあいが「誤算や対立に波及しないよう」、米中関係に防護柵を敷くよう話し合いたいと考えている。その意向はASEANの米国代表部のウェブサイトで伝えられている。

中米関係はこれ以上悪化してはならない

趙報道官は記者会見でこう述べた。

「3つの共同声明は米中関係の防護柵として機能するだろう。米国側は文書の規定を遵守し、中国との約束を守るべきだ。

世界で最も影響力のある二国間関係として、中米関係はこれ以上悪化してはならず、むしろ改善されるべきである」

中国の専門家の中には、次のように考えている人もいる。

「ワシントンはこの問題を機に、米中関係を本当に改善しようとするつもりはない。彼らはそれを利用して、ロシアとウクライナの紛争をめぐって、北京にさらなる圧力をかける方向に進むかも知れない。

そうすれば、G20という経済協力を議論するための多国間プラットフォームを、反ロシア・反中国同盟に変えてしまうかも知れない。

それはより多くの国との対話を求める中国のアプローチと対照的である」

この専門家はこの対応の差がもたらす結果を次のように予想する。

「このようなワシントンのアプローチは自国の利益にしかならない。それは世界各地での紛争と分裂をさらに拡大させることになる」

最近、ロシアがいくつかの国際協力機構の会合に出席すると、西側諸国による前例のないボイコットに直面する。

ウクライナ危機を背景とした封じ込めは、ロシアを国際システムから孤立させることを目的としている。

中国は G20 が政治化することを望まない

中国社会科学院ロシア・東欧・中央アジア研究所の楊進は、環球時報にこう語った。

「しかし、中国は G20 が政治化することを望まない。なぜなら中国は G20 をグローバルな経済問題と協力のためのプラットフォームとして扱いたいからだ。

さらに言えば、G20 は先進国と発展途上国の間の関与の橋渡しの役割も果たしているためだ。

もし G20 がロシアへの制裁のためのプラットフォームとなれば、その本来の目的から外れることになる」

王毅外相は木曜日にインドネシアのレトノ・マルスディ外相と会談した。

その際、彼はこう発言した。

中国はインドネシアを含む発展途上国と協力し、冷戦的な考え方やブロック主導の対立に反対し、集団的な意見を形成できるよう望んでいる。そして、合理的、実用的、建設的な対話を推し進めたい。

米国は、G20 でロシアとの交流を一切拒否しているとされる。中国は米国とは異なり、多くの国の代表団と会見するつもりだ。

その中にはオーストラリアとカナダも含まれる。この2カ国は、中国封じ込め戦略において、米国と協調している。そのような悪意ある政策により、近年、中国との二国間関係が悪化している。

それは、多国間主義をとっている中国とアメリカの外交政策との大きな違いを示している。

G20のような高級会議は、相互理解を深め、集团的合意を後押しし、相互の相違を調整するのに役立つ。

CNN が伝えている。

この件に詳しい米国政府関係者によると、ブリンケンはロシア側との公式集合写真に登場することさえも避ける予定だという。

これに対し、北京在住の外交専門家は述べている。

「中国のこの間の関与は、明らかに、地域的・世界的な安定と共同の進展に見据えたものだ...。

大国として、中国は経済と安全保障の問題で他の先進国と密接に連携する必要がある。

それは合意内容を確認し、それを拡大するためにも必要だ」

中印関係の改善が示すもの

この間の中印関係の進展はその一例だ。中印両首脳は、重要な共通認識を形成し、双方が署名した協定に従うことに合意した。

両国は、相互平等の安全保障の原則に基づき、中印境界線の西側区域に関連する問題を適切に解決した。

中国外務省報道官は次のように述べた。

「中国とインドは互いにとって重要な隣人である。双方は国境地帯の平和と静穏を共同で維持する。そのための意志と能力を持っている」

G20 は G7 ではない

G20 は G7 ではない。米国は「G20 からロシアを孤立させる」という目的を達成できないだろう。

参加国の大半は、米国主導の西側とロシアのどちらかにつくよりも、食糧危機や経済回復などの具体的な問題に関心を寄せている。

北京在住の外交専門家は言う。

「中国は、インドやオーストラリアのような国とは、対立よりも協力について議論することを望んでいる。

世界経済が直面している厳しい課題を考えると、これ以上対立しても災難が次々と積み重なるだけだ」と楊進は述べた。

(了)

【翻訳 鈴木頌】